



ロキテクノ全社の事業は多くの皆様に支えられて成り立っています。私たちはその感謝の気持ちを社会貢献活動というかたちに変えて、一人でも多くの人がいつも笑顔でいられる社会になることを願い、「笑顔をひろげよう」を当社の重点テーマのひとつとして定め、良き企業市民として社会に恩返しをしたい想いで様々な活動を行っております。

■子供たちを笑顔に

- 【ガチャガチャプロジェクトへの寄付】治療やリハビリに頑張る子どもたちの励みになるように、病院にガチャガチャを設置している「ガチャガチャプロジェクト（運営：NPO法人プロジェクトサンタ）」へ寄付をしました。(2025年3月)
また、社内で不要となった本を「ありがとうブック」へ送付し、その収益を通じて「ガチャガチャプロジェクト」へ寄付をしました。(2024年10月)
- 【公益財団法人日本ユニセフ協会への寄付】世界中の子どもたちが清潔で安全な水を使えるよう「水と衛生」の活動に寄付をするとともに、「ユニセフ支援ギフト」への協賛を行いました。(2025年7月)
- 【野球教室の開催】滑川市の地元の小・中学生に向けて、ロキテクノ富山の選手がコーチとなり、少年野球技術レベルの向上を目的とした野球教室を実施しました。(2024年11月)
- 【児童福祉マットの設置】デイサービスに通う子どもたちの支援に繋がるレンタルマットを九州事業所で採用しています。(2024年8月より)
- 【パラスポーツ支援】スポーツを通じて子どもたちへ夢を届けている車いすテニスプレーヤー齋田悟司選手の活動を支援しました。(通年)
- 【古切手の収集】本社・九州事業所内に収集箱を設置し、集めたものを世界の子どもたちにワクチンを日本委員会にお渡しすることで世界の子どもたちにワクチンを届けるための支援に繋がる活動を支援しました。(通年)

■地域の皆様を笑顔に

- 【献血活動】九州事業所、北陸事業所、本社の各拠点にて有志による献血を行いました。(5回/年)
- 【災害備蓄品の寄贈】本社で災害時に使用するために備蓄している保存水をもったいないジャパンを通じて「子ども食堂」へ寄贈しました。災害備蓄品の入れ替えの際は、寄贈できるように賞味期限に余裕を持って切り替えを行っています。(2024年10月)
- 【富山県への寄付】医薬品産業で活躍する人材の育成やアカデミア発シーズの研究・実用化支援を目的とした「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムの取り組みに賛同し、富山県への寄付を行いました。(2025年2月)
- 【赤い羽根共同募金への寄付】東京都共同募金会を通して「赤い羽根共同募金」への寄付を行いました。(2025年3月)
- 【募金活動】九州事業所・北陸事業所内に募金箱を設置し、各拠点の福祉協議会（広川町（福岡県）、上市町（富山県））を通して「赤い羽根共同募金」への募金を行いました。(通年)
- 【応急手当訓練】有事の際の救命活動に対応できるよう本社、九州事業所にて応急手当訓練を実施しました。(2025年5月、6月)
- 【チャリティカレンダー市】清瀬市社会福祉協議会が主催するチャリティカレンダー市（バザーイベント）に余剰カレンダーを送り、歳末たすけあい募金に繋げる活動に参加しました。(2025年1月)
- 【地域スポーツ振興】ロキグループの拠点である東京、富山、福岡、それぞれの地域との融合を図る目的でスポーツ振興活動を行いました。北陸事業所地域では社会人硬式野球チーム「ロキテクノ富山」の運営・活動を行いました。また、プロ野球チーム「横浜 DeNA ベイスターズ」、「福岡ソフトバンクホークス」の活動を支援しました。(通年)
- 【九州事業所の駐車場貸出】地域で行われるイベントに駐車場の貸出を行いました。(2024年10月、11月)
- 【ペットボトルキャップ、プルトップの収集】本社・北陸事業所・九州事業所内に収集箱を設置し、集めたものを広川町社会福祉協議会へお渡しすることで、車椅子を福祉施設に寄贈する活動や被災地支援に繋がる活動を支援しました。(通年)
- 【募金型自動販売機の設置】九州事業所は「赤い羽根共同募金」「ジョイセフ」、北陸事業所は「公益社団法人とやま緑化推進機構」へそれぞれ売上の5%が募金される自動販売機を設置し寄付を行いました。(通年)
- 【みんなできれいにせんまい大作戦】とやま環境財団が主催する清掃活動に参加しました。(2025年7月)
- 【上市町クリーン大作戦】地元企業の新入社員が集まって研修や清掃活動を行う活動に参加しました。(2025年4月)
- 【e-denpo】全社でe-denpoを使用し、植林活動の支援を行いました。(通年)
- 【障害者就労支援】九州事業所内で毎週金曜日にパンの社内販売をしていただき、障害者就労継続支援A型事業所であるベーカリー「手づくりパン工房 ル・パン」の売り上げに協力しました。(通年)
- 【コンタクノレンズの空ケースの収集】コンタクトレンズの空ケースをリサイクルし、リサイクルで得た対価を「視力を取り戻す活動」（日本アイバンク協会）に寄付する取り組み「アイシティ eco プロジェクト」へ賛同し、九州事業所、北陸事業所、本社の各拠点へ回収箱を設置しました。(2025年4月より)